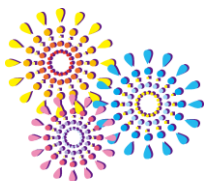


きらめき



本州では、今年の夏、気温が40℃を超えるところが何カ所もあり「命に危険のある猛暑」という新しい表現で夏の異常気象への警戒を訴えていましたが、北海道の暑さは、なんだか物足りない感じで終わってしまいましたね。

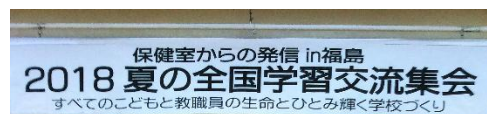


2学期も始まりましたが、皆さんいかがお過ごしですか？ 夏休みは、リフレッシュや研修で充分元気を充電することはできたでしょうか。健康診断も1学期で終わり、長い2学期は、子どもたちにじっくり関わったり保健活動を実践的に取り組んでいけるときのですね。自らの健康にも気を配りながら、2学期も頑張っていきましょう！

やっぱり！夏学！！

7月28日（土）～29日（日）、福島で行われた夏学に行ってきました。道教組から参加したのは、全教常任委員の斉藤先生（宗谷）と宗谷OG2人を含め7人です。

記念講演は、東京医大茨城医療センター精神科医の柁屋二郎氏による「愛着障害と子どもたち～子どもを育むために学校・保健室でできること」。自主講座は、さくら保育園園長の安彦孝氏による「子どもたちのためにできること～保護者とともに放射能と向き合って」でした。分科会では、第4分科会「保健室からの共同の学校づくり」で、國保が「保健室からの願い～平和であってこそ」と題したレポートを出し、活発に論議してもらうことが出来ました。



森山 T(釧)・角田 T(宗)・斎藤 T(宗)・和田 T(宗)
國保(日)・佐々木 T(宗)・浅利 T(宗)



道教委交渉



8月10日(金)、部長の國保と常任委員の中村T、本部書記長の斉藤さんの3人で道教委交渉に行ってきました。そして要請書と養教の定数改善署名 6,975 筆を渡し、学校現場の話をしてきました。

養教の配置基準については長年要請してきていますが、今年も道教委の返答は、飽くまで国の標準法に則ってということで進展はなく、「11人以上」という北海道独自の基準についても指摘しましたが、「総体の中でやっているのだから、関係課の方には伝えているが現行では動きはない」とのことでした。今年はそのに加え、全教養教部での文科省・厚労省での交渉でも「学校環境衛生基準」について要請したのを受けて、また、本州では記録的猛暑での教室環境についてクーラーの設置など話題になったこともあり、道教委交渉でも「学校環境衛生」について要請してきました。詳しくは別紙の交渉結果のまとめをご覧ください。



総会の在り方について

今年5月に行った総会は、これまでと趣を変え、後泊の予算をつけてもらって総会の後に懇親会を企画しました。忙しい時期でもあったため、全員参加とはなりませんでしたが、実践交流も交えた中身の濃い懇親会となり盛会でした。しかし、やはり総会自体の時間が短くて欲求不満？の感はぬぐえませんでした。皆さんからいただいた感想や意見をもとに、予算がつけられる範囲で次回以降どのようにするか、検討したいと思います。以下は、寄せられた感想・意見です。

- ・土曜日に出て日曜日にゆっくり帰れるのは良かった。
- ・総会は時間が限られ充分話が出来なかった。
- ・半日の総会は短かった。
- ・土曜日の午後からの開始で夜の交流会の流れは良かった。(2人)
- ・自己紹介は名前程度であとは審議の中で話した方がよい。
- ・夜は交流・宿泊も含め、色々な話が出来て楽しかった。
- ・夜の交流会では、昼間の会議よりもさらにざくばらんに色々な話が聞けて勉強になった。
- ・初めの自己紹介と近況だけでもあんなに時間をとって話せただけでも、さすが全教養教部だと思ったが、夜の交流会も本当に有意義だった。若い先生がキラキラしていた。若い先生方にとっても、お土産付きの会議なら参加してもいいと思うと思う。会議だけでなく一緒に飲食しながら話が出来るのは、関係性づくりにも役立つ。



ありがとうございました

さあ！仲間と共に学び合おう！

全道養護教諭研究集会

- 日 時 9月15日(土) 10時から
- 場 所 北海道高等学校教職員センター4階
- 講 演 「保健室は『困っている子』を支える最前線」
ノンフィクションライター 秋山千佳氏
- 学習交流 しゃべる場～レジェンドに聞く
- ※ 昼食は各自で用意して下さい。

全道合同教育研究会

- 日 時 11月3/4日(金・土)
- 場 所 札幌教育文化会館 高教組センタ
- 講 演 「改訂学習指導要領とこれからの学校」(仮題)
民主教育研究所所長 梅原利夫氏
- テーマ討論 ●教育のタベ ●分科会
実践レポートを持って！いや、なくても！！

若い先生や未組の先生にお誘いの声をかけよう！！